

私からひとこと

後藤 幸枝さん (多古台)

「たここどもルーム」をよく利用しています。子どもたちは遊びの中でお友だちとの接し方を身につけられるほか、外遊びも楽しい遊具があり子どもたちのお気に入りです。できれば、里帰り出産の親子の利用もOKだといいな。あと、病児・病後児保育も実施してもらえると、仕事を持つママは助かります。



渡辺 義則さん (井戸山)

農業に携わる人の高齢化、後継者不足で5年後の多古町農業が心配されます。町とJA等が協力し、高齢化による問題を緩やかなものできないか。産地として確立したやまといも等の作物について、産地間競争に耐えられるよう町でもバックアップしてほしい。生産者の所得が上がれば、後継者問題も改善の光が見えてくるのでは。



佐藤 正史さん (埜)

鉄道のない多古町にとって、バスの利便性向上はとても有意義だと思います。我が家でも中高生の子もたちが休日などに利用しています。現在多古在住の人はもちろん、町外の人がたくさん利用して町を訪れてくれるようになるといいですね。また、ふるさと寄附金の返礼品などでも“多古町の魅力”が発信できたらいいですね。



今年度 注目の 事業を チェック!

空港シャトルバス 実証運行事業 (繰越明許費)

1,460万円

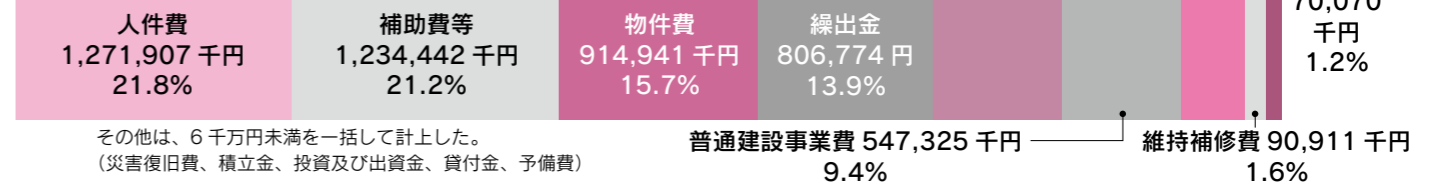


所一重委員 シャトルバスは新年度 1.8 倍増便するが、通勤・通学での利用が一番多いのに、時刻表案では朝の間隔が空いているのでは。始発が6時で次の便が7時8分と1時間以上空いており、都内へも通える多古町と言うならばこの時間帯にもう1便入れ午後の時間帯で調整することで、利用者の利便性が向上するのでは。

勝又一徳委員 6時と7時8分の間に1便入れるだけで通勤・通学に十分使え、利用者は伸びると思います。最大限利益がとれるよう、利用者の意見を酌み前向きに検討してほしい。

企画財政課長 車輛のやりくり、ドライバーの勤務体系等と今のご提案も可能なのか検討したい。

歳出 (性質別) の割合



ふるさと寄附金関連

2,068万円



勝又一徳委員 クレジット決済の手数料は。この方式を活用することで寄附金も自動的に毎月いただける形もとれるのでは。返礼品も米などは毎月送られてきた方が便利で件数も増えるのでは。

企画財政課長 手数料は960件1.5%で予算計上しています。返礼品についても4千円刻みのコーナーに分け、お好みの時期に小分けして届くように変更しました。

プレミアム商品券発行事業

300万円



所一重委員 今回のプレミアム分は10%ですが、地元商店のみしか使えない部分について、前回は商工会の皆さんが商品券1組1万3千円の内の2千円と決めたこと伺いました。3千円や4千円にとの議論ができるよう、インパクトある他の自治体の事例を情報提供し、目的と効果が表れるようなものにしてほしい。

産業経済課長 その辺りも含めて商工会と再度検討を加えたい。

高齢者インフルエンザ助成事業

435万円



石渡悦子委員 高齢者インフルエンザ予防接種助成額を1000円から1500円に引き上げる積算の根拠は。
保健福祉課長 ワクチンの薬価が上がったため1500円とし、接種者の見込みは2900人です。

中学校空調設備設置工事設計業務

368万円



石渡悦子委員 中学校空調設備の共用開始の見通しと、特別教室や小学校の普通教室への設置計画は。

学校教育課長 平成28年度に設計を行い、29年度工事に着手できればと思っています。財源について文科省の補助採択はゼロとのこと、基金を積み立てるとともに、補助金の情報収集もして取り組んでいきます。小学校については、適正規模の配置の問題もあり、十分検討して時期を見定めていかなければと考えます。